

カメムシ類を防除して斑点米を防ぎましょう!!

水田周辺雑草地における斑点米カメムシ類の生息密度は、平年、前年より非常に多く、特にカスミカメムシ類の発生が多くなっています。早生品種の出穂とともに、水田内への侵入量も増加してくるので、防除の徹底を図りましょう。

1 防除対策

- 出穂期後の草刈りはカメムシ類の水田内への侵入を助長するので行わない。
- 粒剤での防除は、薬剤によって散布時期が違うので注意する。
- カメムシ類は、水田の周縁部に多く発生するので、本田防除の際は畦畔も含めて防除する。また、カメムシ類は、日中はあまり活動しないため、夕方か早朝に薬剤散布を行う。

○防除適期は、第1回目が穂揃期、第2回目が糊熟初期で、

早生品種は、第1回目が7月21～23日頃、第2回目が7月28日～8月1日頃の見込み。

○斑点米産出能力の高いホソハリカメムシ、トゲシラホシカメムシなどの発生が多い場合は、さらに収穫14～7日前に追加防除する。

【ニカメイガ多発圃場での防除】

○ニカメイガが多い地域では、ニカメイガにも登録のある農薬を使用して同時防除を行う。なお、ニカメイガ第二世代幼虫の防除適期は7月20～25日頃の見込み。



アカスジカスミカメ成虫

農薬の飛散に注意しましょう

農薬の安全使用に努めて適期防除しよう

2 防除薬剤

(1) 粉剤・液剤

防除時期	薬剤名
(早生・中生)	カスエルバツサ粉剤DL★
第1回目：穂揃期	トレポン粉剤DL★
(出穂3～5日後頃)	アミスタートレポンSE
第2回目：糊熟初期	MR. ジョーカー粉剤DL
(出穂10～14日後頃)	キラップジョーカー粉剤DL
	キラップジョーカーフロアブル★
	スタークル粉剤DL★
	アルバリン粉剤DL★
	ビームエイトスタークルゾル
	ビームスタークル微粒剤F
	ダントツH粉剤DL★
	ラブサイドダントツフロアブル

★はニカメイガにも登録あり

(2) 粒剤

- ・粒剤は薬剤によって散布時期が異なるので注意する。
- ・粒剤の散布時は水深3cm程度の湛水状態とし、自然落水する。

☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllg301.do>) を確認して下さい